

## 23の地域職域が集まって!

### ●浦高同窓会・地域職域同窓会責任者会議

2月2日(土)の午後1時から、県立浦和高等学校内の麗和会館にて「第5回 地域職域同窓会責任者会議」が開催され、春日部地区浦高会からは三輪会長、鳥井常任理事と一緒に私も常任理事(兼春日部地区事務局長)として参加させていただきました。

開会前に昨年中にお亡くなりになった川本前会長、内藤・持田両理事に黙祷を捧げました。

川野幸夫会長のご挨拶。

「本日はお忙しい中、地域職域同窓会責任者会議にご出席いただきありがとうございます。



また、それぞれの同窓会で皆様が中心となり活動していただいておりますことに感謝申し上げます。私も各地区の総会に出席させていただく中で、同じ学校を卒業して、男の世界の袂を脱いで和気藹々とした雰囲気を見させていただき、同窓会の良さを噛みしめているところでございます。同窓会は母校があつての同窓会であり、関根校長先生のリーダーシップのもと、教師と生徒が真剣に向き合い指導し、生徒もそれに応えてくれているということがさまざまな面でうかがえるところでございます。本校が掲げる『尚文昌武』の精神を、関根先生は『三兎を追え』と表現され、生徒たちが学業に、運動や部活に、さらに学校行事に全力で取り組んでおります。私はこれからの日本を背負っていく人材の育成というものが浦高の使命であると思っております。それはグローバルな社会で活躍し、リーダー足るべき人材でなくてはなりません。そうした人材を育てるために、同窓会としてできる支援策として奨学金制度と財団設立を進めております。創立110周年は『浦高百年の森づくり』でありましたが、2年後の創立120周年では『奨学金制度』を進めてまいりたいと存じます。皆様には寄付をお願いすることになりますが、どうぞ同窓会としての支援にご協力いただきますようお願い申し上げます。

続いて関根郁夫校長からは、

「私も本校に着任して4年が過ぎようとしております。この間、グローバルな社会で活躍できる人材の育成ということでアメリカでのサマースクールやイギリスのホイトギフト校との交換留学などを進めてまいりました。昨年は3名がサマースクールに参加し、来年度は複数名をホイトギフトに送りたいと考えております。その中で、アメリカの大学に行

こうと真剣に考えている2年生が出てきました。これまでにケンブリッジに2人が行きましたが、3人目のオファーも出てきております。少しでも外国に出ていこうという生徒が生まれてくれれば幸いです。公立学校で交換留学から外国の大学進学へ結びついているのは本校だけだと自負しております。また、会長さんのお話にもございましたように、今年の3年生は、93%が部活動をギリギリまでやり抜いており、進学にも良い結果が付いてくるものと考えております。大学受験にシフトしている分、本当の教育とは何かを考える必要があると思います。来年度は最終の5年目に入りますので、そうしたことをしっかりと見据えながら、将来のリーダー育成を進めてまいりますので、同窓会の皆様のご期待とご支援をお願い申し上げます。

\*

議事に入り、事務局からの報告が二つ。

### ①創立120周年を視野にした「奨学金制度」

平成27年(2015年)10月には、学校創立120周年を迎えます。そこで同窓会では「奨学金制度検討委員会」が発足し、後輩たちへの経済的支援や、グローバル化に対応した優秀な人材育成に資する奨学金制度を制定し、公益財団化を目指して検討することになりました。募金目標は5000万円です。

### ②同窓会ホームページの立ち上げ

継続的にさまざまな情報を発信するために、ホームページをリニューアルして連休以降立ち上げ、継続的に新しいコンテンツの提供も受けます。

\*

いよいよ本題の各同窓会からの報告です。23の同窓会から約3分(?)の発表ですが、私たちの同窓会に参考となる内容を記載します。

◆大宮浦高会：川野同窓会会長の理念を支援するためにも、地域同窓会が元気に地域の活性化に努める必要があります。一人一人の会員が地域に根ざした活動を行い、コミュニケーション(ノコミュニケーション)を大切にして政治・経済・外交等大いに議論しています。

◆浦高同窓会北本支部：懇親会を年1回開催し、会員の石津市長がいう『北本を有名にしたいという思いで観光100万都市を目指して!』に協賛した活動を進めていきたい

◆浦和麗和会：浦高のある地元・浦和に地域同窓会があり、しっかりと活動していることが大事だと思っております。【※会報『麗和会うらわ 第5号』には、浦和麗和会会長が書かれた「浦和高の〇(ゼロ)起点」がありました。浦高同窓会の「〇」の根源は、母校への協力と感謝であり、会員相互の素直な交流に努めることだそうです。会報が立派です。】

◆**蕨麗和会**：昨年の会で会員拡大について悩みを話させていただきましたが、地元の蕨市役所に行き、浦高卒業生を勧誘したところ、30代も含めて4人の新規開拓ができました。

◆**湘南浦中・浦高会**：浦高を卒業して、湘南地域に就職し、居住した人たちの同窓会です。そういう意味では広範囲な交流が可能なのですが、前会長のお宅のギャラリーが無くなり、例会の会場探しから始めています。

◆**上尾麗和会**：同窓会の歴史は古く、1973年から続いています。年1回の総会やゴルフ大会にできるだけ多くの人たちに参加してもらえよう工夫をしていきたい。

◆**春日部地区浦高会**：年1回の賀詞交歓会と総会、そして3年前から始めた「春日部麗しの杜づくり」、昨年22号発行した会報「喫茶去」などをPRさせていただきました。【活動記録参照】



◆**西部浦高会**：昨年は総会終了後に、『ヤオコ-川越美術館』の見学会を開催しました。同窓生の皆さんには、ぜひ、美術館を楽しんでいただき、川越の蔵などの街並みを楽しんでください。

◆**和光麗和会**：年1回の総会ですが、地元在住の鈴木勲二・元校長先生をお招きしています。

◆**川口麗和会**：昨年総会で会長が26回、副会長が29回とだいぶ若返りました。年1回の総会、2年に1回の講師を招いた講習会を行っています。

◆**大成建設浦高会**：職域同窓会であるため、定年退職者がいると会員が減る運命にあります。最近は浦高から建設業界に入社する人材も減っています。

◆**秩父浦中浦高会**：秩父は浦高に来るには遠く、また学力が高まる中でなかなか受験する人が出てこないため、会員も高齢化しています。【※今回、浦中45回（昭和19年3月）卒業の齋藤國彦会長が参加されたことに尊敬と感謝を申し上げます。】

◆**久喜麗和会**：久喜市は1市3町で合併後3年が過ぎますが、周辺の同窓生の取り込みがなかなか進まない。今後も働きかけていきたい。会員の鈴木さん（高11回）は、昨年ウルトラマラソン（100キロ以上）100回達成され、毎回、古河マラソンにも参加されています。

◆**岩槻・蓮田浦高会**：昨年は天野医師の蓮田市市民栄誉賞の受賞を祝う会を行いました。個人情報の扱いで難しかった浦高新入生歓迎会を開催しました。

◆**東京浦高会**：東京浦高会は、地域職域のような結びつきが強くないため、縦横斜めとさまざまな形での結びつきを大切にしています。特に昨年は、起業しようとしている会員にスピーチをしてもらい、先輩たちからアドバイスをを行うような会にしました。見聞旅行では7回目のミャンマーに行きました。

◆**与野浦高会**：昭和40年代からと一番歴史が古い地域同窓会を自負していますが、昨年名称を変更し「与野浦高会」としました。年1回、コミュニティまちづくり事業として、一般市民を対象とした講演会活動を行っています。

◆**関西麗和会**：近畿2府4県を範囲として5年目と若い組織ですが、これまで55歳以上を対象とされていたのですが、平成生まれの人たちも対象に拡大を図っています。

◆**古河麗和会**：強歩大会のお手伝いと総会を行っています。昨年度は、総会で元統合幕僚長であった石川さんから「我が国の海上防衛について」というタイトルでタイムリーな講演をいただきました。

◆**志木麗和会**：総会には在住の細田信良・元校長をお招きし、少人数なので参加者全員からトピックなどを報告してもらっています。

◆**県庁麗和会**：毎年1回総会を開催しています。職域なので賛助会員としてOBや県会議員の参加も可としています。

◆**霞ヶ関麗和会**：霞ヶ関官庁に勤務している浦高出身者の集まりで、横の連絡に役立っています。

◆**昭和大学医学部浦高会**：創立2年目ですが、親睦、学術交流などを行っています。

冒頭の会長や校長先生のお話にあったグローバルな人材の話に関係しますが、私が在学中には浦高の先生たちが作られた「浦高の物理」という教科書がありました。その「はしがき」に『教科書はすべての人に使えるように限られた内容とレベルに抑えられています。われわれは、浦高生の能力と進路にふさわしい授業を目指して努力してきました。<中略>。これは参考書ではありません。授業で使う教材です。<後略>1979年7月』とあり、先生たちの情熱が伝わってきます。画一的な授業では無く、こうした先人の努力を取り入れていただきたいと思い、実家から持ってまいりました。



◆**戸田麗和会**：これまでは40歳以上の人たちを対象としていた会ですが、若い会にしていきたい。

◆**九州浦中浦高会**：(郵送にて)年1回の報告懇親会。

※

24の地域職域同窓会があり、この他に部活同窓会などと広く繋がっていくことを期待します。